

わあすごい！卵がいっぱいできたよ ~自然の不思議さに驚き感動を味わう~  
 北区立うめのき幼稚園（東京都北区）

【5歳児】

(1) 保育者の感動体験 (2月中旬)

小学校からの情報

夜になるとたくさんのカエルが産卵にひょうたん池に来ていますよ。...



ひょうたん池へ見に行く



池を目指してこんなにたくさんのカエルが校庭を横断するの!?

オスが鳴いてメスを奪うの? すごいカエル合戦!

子どもたちにも体験させたい!



(2) 幼児とカエルとの出会い <オタマジャクシの成長を見つめて>

自然体験の積み重ね	子どもの姿・言葉	保育者のかかわり・援助
<p>【平成19年2月26日】 ひょうたん池探検へレッツゴー! ・学級のみんなでアズマヒキガエルの産卵場面に出会う。</p>  <p>うわー。卵、長ーい!!</p>	<p>・このカエルおしり動かしてる。 ・卵がどんどん出てる。 ・卵、長い。 ・すごいね。&lt;感動・発見&gt;</p> <p>オスが小さくてメスの方が大きいの!</p> 	<p>A: 保育者の感動体験からきっかけ作り A: 身近な校庭で、カエルが産卵している様子を幼児にも見せたい!</p> <p>・幼児の言葉にうなずきながら、幼児たちが状況や特徴をよく捉えていることに共感したり見守ったりする。</p> <p>振り返り 上がオスで、下がメスなんだって。 ・“オスはメスを離さないように指めどごろに「いぼ」のようなものがある”というのを、幼児にも伝えれば、さらによく見ようとし、興味や関心をもっと広げ深めることができたのではないか。</p>
<p>【3月中旬】 幼稚園のベビー池にも産卵していることに気付く。</p> <p>カエルの卵を身近に見る。 卵の中の微妙な動きや形の変化に気付く。</p>	<p>・あっ、いまピクって動いた! ・黒くて小さい卵、まん丸の卵がいっぱいあるね。</p> <p>・(今まで丸だったけど)丸じゃない。変な形になっている。 &lt;気付き・発見&gt; ・白くなっているのは死んじゃってるんだよ。&lt;知識&gt;</p>	<p>A: カエルの卵を水槽に分けて、身近に見られるようにする。</p> <p>いつオタマジャクシになるんだろうね。</p> <p>本当だね~ 不思議だね。(幼児同士の会話を見守る)</p>
<p>【数日後の降園時】 卵の形の変化に気付く。</p>	<p>もうすぐオタマジャクシになりそう? &lt;予想&gt;</p>	<p>卵の形が少し変わってきたね。</p>
<p>【数日後】</p>	<p>・本の写真と照らし合わせて、「今これと同じ」と比べる。 &lt;気付き&gt;</p>	<p>A: 情報提供・環境作り ・翌朝、オタマジャクシの写真入りの本を1冊出しておく。卵の成長の様子を本で見て確認することで成長への期待を深める。 ・生き物の特性や自分との違いに気付かせるような言葉を、保育者が投げかけることで、より考えたり、調べたりすることにつながる。</p>

### 【春休み】

- 卵からかえり、水草にくっついてくっついている様子を見る。
- 園に遊びに来た幼児数名が、卵からかえっていることに気付く。



- オタマジャクシを見ようとして水草を持ち上げる。
- 保育者の言葉を聞いて、覗き込むようにして見る。

オタマジャクシ、水草につかまっているの？

オタマジャクシになれば泳げるの？ <予想>

### B：情報提供・環境作り

オタマジャクシはまだ泳げないから水草につかまっていることや、水草を持ち上げないことを伝える。生き物との接し方を分かりやすく伝え、指導することが興味や関心を広げるきっかけになる。

私（先生）も知らなかった！「泳げないから水草につかまっている」と本に書いてあるよ。楽しみだね！

——：指導のポイント

A、B：実践事例集 vol.5 P4 の構想図に対応

### 《考察》

保育者が感動したことは、幼児も感動する。ひょうたん池で毎年繰り返されていたこの知られざる感動を、保育者が体験したことで幼児も感動体験をすることができた。今後は、指導計画に位置付けていく。幼児の様々な驚きや気付き、じっくりと見ている姿を、**保育者もじっくりと見守る**ゆとりが大切である。本や図鑑など、いつでも幼児が調べ確認できるような**教材準備が必要**である。生き物がよりよく生きるために必要なことを、保育者が先に教えるのではなく、幼児自ら気が付いたり考えたりできるような**保育者の言葉がけ**を大切にしたい。

### みどころ

春の様々な生命の誕生や芽生えが、感動的な体験に結び付くように、計画的に環境を整えることはもちろん大切なことです。そしてこの事例のように、改めて保育者自身が自然や生命誕生の素晴らしさに大きく心を動かすことで、例年見られる出来事であっても、より新鮮な貴重な環境になります。

カエルが卵を産むことを知っているだけでなく、その様子を目の当たりにして感動することで、カエルや卵の様子を細かく観察し、その後も興味深くかかわることにつながりました。